

病院実務実習関連アンケート調査結果報告

薬学生病院実習検討委員会

【はじめに】

薬学生病院実習検討委員会では2017年1月～3月に病院実務実習受入状況等および「改訂モデル・コアカリキュラム」、「薬学実務実習に関するガイドライン」について会員施設にアンケート調査を実施しましたので、結果について報告いたします。

【回答施設数等】

会員施設339施設に対しアンケートを配布し、77施設から回答を得た。

回答施設全体では182名の認定実務実習指導薬剤師が在籍していた。

【実習受入状況等】

28年度受入状況（人）				計 475
	機構	独自	付属	小計
I期	3	120	49	172
II期	4	122	51	177
III期	4	78	36	118
その他	0	8	0	8

29年度受入予定（人）				計 516
	機構	独自	付属	小計
I期	6	123	47	176
II期	5	133	51	189
III期	7	98	36	141
その他	0	10	0	10

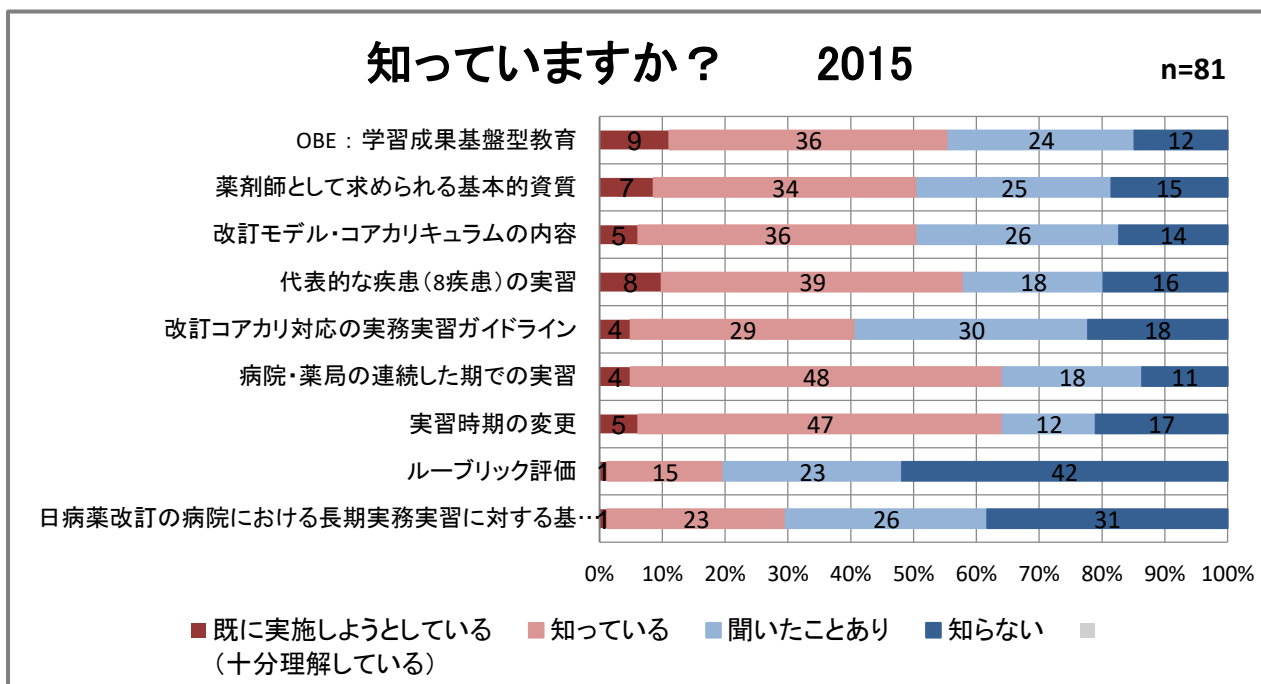
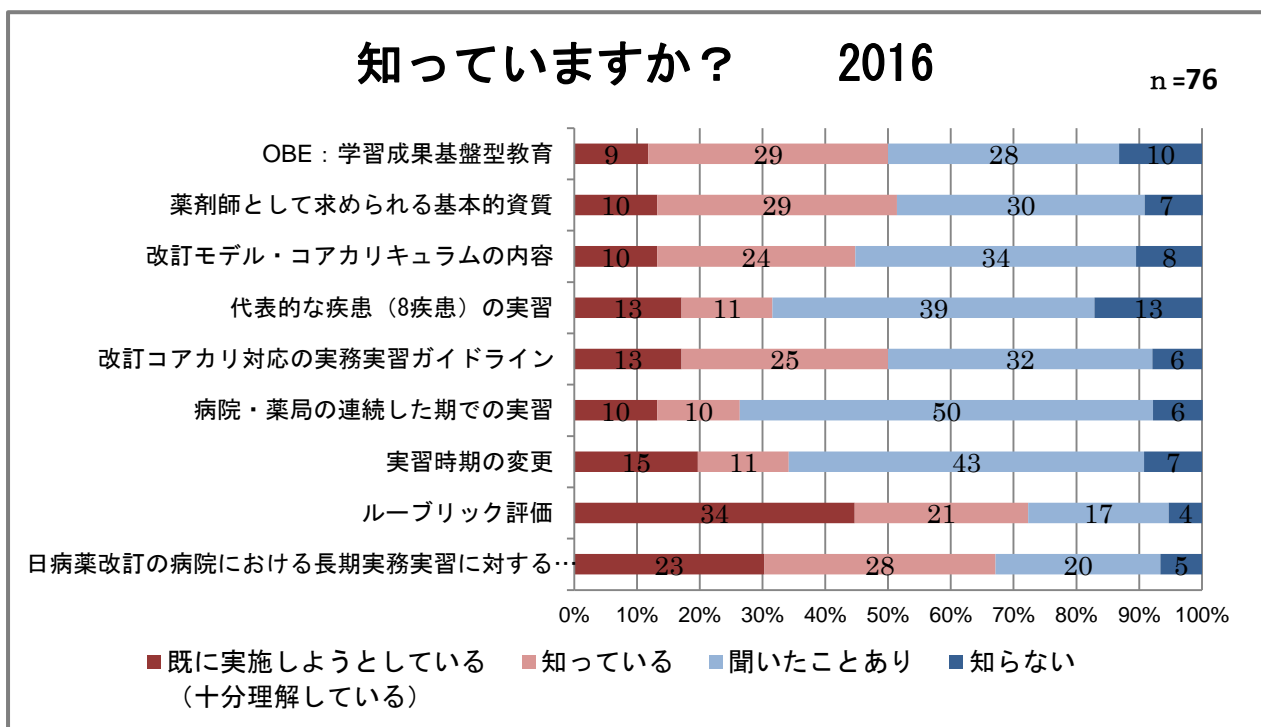
28年度早期体験学習受入（人）											
04月	05月	06月	07月	08月	09月	10月	11月	12月	01月	02月	03月
0	21	0	87	150	1	21	0	0	0	0	0

【改訂モデル・コアカリキュラム・薬学実務実習に関するガイドラインについての調査】

【設問】知っていますか？

1. 学習成果基盤型教育（OBE ; Outcome-Based Education）
2. 「薬剤師として求められる基本的資質」

3. 改訂モデル・コアカリキュラムの内容
4. 「代表的な疾患（8疾患）」
5. 「実務実習ガイドライン」
6. 「薬局実習－病院実習」または「病院実習－薬局実習」といった連続した期での実習
7. 実習時期の変更
8. 「ルーブリック評価」
9. 日本病院薬剤師会改訂「病院における長期実務実習に対する基本的な考え方」



今回は、各項目の認知度がどのように変化したかを見るために、2015年と同じ内容のアンケート調査を実施した。

前回認知度が低かった項目のうち、日病薬改訂の「病院における長期実務実習に対する基本的考え方」については「聞いたことあり」まで含めると約60%から90%超に認知度が上がっていた。また、ルーブリック評価については、約50%からこちらも90%超に認知度が上がっていた。

改訂モデル・コアカリキュラムの内容や代表的な疾患（8疾患）の実習については、「知っている」と回答した施設の割合が前回よりも少なく、施設間で認知度にばらつきがある。平成31年度から始まる改訂コアカリに対応した実務実習において、どこの施設でも一定以上の質を担保した実習を進めるためには、これらの情報を提供する場をさらに設ける必要があると考えられる。

実習時期の変更、薬局・病院の連続した期での実習についても、90%以上の施設で認知されているが、「知っている」と回答した施設の割合は前回よりも少なかった。回答施設が2015年と2016年で異なることもあるかもしれないが、受け入れ側の体制に大きな影響のあることであり、準備を進めていく必要があると考えられる。

【最後に】

当委員会では、昨年4月13日に「改訂薬学教育モデル・コアカリキュラムに対応した実務実習に関する講習会」を開催しました。また、認定実務実習指導薬剤師アドバンスワークショップを3回開催し、改訂モデル・コアカリキュラムに準拠したカリキュラム作成に関する講習を実施しました。さらに、認定実務実習指導薬剤師認定更新講習会では、今回のアンケートの項目について説明されています。

まずは、改訂コアカリ、実務実習に関するガイドライン、日病薬の基本的な考え方の理解が必要であり、実習受け入れ施設におかれましては、下記のURL等で内容をご確認いただきたく、ご案内いたします。

改訂薬学教育モデル・コアカリキュラム

薬学実務実習に関するガイドライン

→ 文部科学省 薬学教育

http://www.mext.go.jp/a_menu/01_d/08091815.htm

日病薬の長期実務実習に対する基本的な考え方

→ 薬学教育協議会 http://yaku-kyou.org/?page_id=116

ルーブリックとは

→ http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo4/015/attach/1314260.htm

アンケートへのご協力ありがとうございました。

今後も薬学生病院実習検討委員会の活動にご協力をお願いいたします。